

2014年2月3日 百田尚樹街頭演説 (※YouTube上の動画から一言一句を再現)

「人間のくず」発言

○ 百田尚樹@有楽町

田母神俊雄さん、私は実は昨日はじめてお会いしました。

えー会った瞬間にこの人は男だとおもいました。

はい、本当に立派な男です。

えー、まあ他の候補者の方はほとんどお会いしたことないんですけど、あの一、まあ10何人おりますが、まあ、そのほとんどがまあ泡沫で、えーまあ無視してもいいと思いますが、

えー、のこり(やっかいな)3人くらいおられます。

えー、どいつもこいつも人間のくずです。

はい、あのね一、えー、東京都民の皆さんはね、くずを知事にしてはいけません。

あの一、東京、今回の東京都知事選はですね、いち、日本の一地方選挙ではありません。

○ 百田尚樹@秋葉原

えー、本当に今回の東京都知事はこれからの日本の5年先10年先をうらなう非常に大変な選挙だと思っています。

えー、とにかく関西にいて思うことは、今回の都知事選、都知事になるのは田母神さんしかいません。

はい、えー、それ以外の候補、まあ10人以上はまあ泡沫ですが、

ほんとうに何人か重要あの一えー重要な候補と言われている人間ですが、私からみれば人間のくずみたいなもんです。

はい、あの一、ほんとうにね、あの一とおく関西からきてます、あ一、みえますと、あの一、田母神さんに対する、えー誹謗中傷は非常に酷いです。

えー、田母神さんが都知事になれば日本が戦争をするんじゃないかと。

どうやって東京が戦争できるねん、あほなことというなと思うのですが、

えー、実はですね、あの一、まあ、えー、憲法改正の話についてちょっと言い

出しますと、私は憲法改正派です。

えー、といたしますのは、えー、今の憲法はですね、戦争が起こってほしくないなあとただそう願っているだけの憲法だと私はえー、作家としてそう解釈しております。

えー、それをどう変えるか、絶対に戦争を起こさせないそういう憲法に変えるべきだと僕は思っています。

よく安倍さんがね、安倍総理が、いわゆる国防軍にしたい、安倍さんは戦争をやりたいがっているのか、とんでもないです。戦争を起こさせないために軍隊が必要なんです。軍隊は今戦争を抑止する一番の力です。

### 「南京大虐殺、従軍慰安婦はなかった」とする発言

#### ○ 百田@新宿西口

よく、出てくる、あの南京大虐殺。出てきます。南京大虐殺は、1938年に蒋介石が、南京大虐殺、南京大虐殺、日本は南京大虐殺をしたと昭和38年にやたら宣伝しました。でも、その時に世界の国は無視しました。なぜか。そんなことはなかったからです。その当時、南京市内にはですね、大量の欧米人の専門記者、カメラマンがたくさんいました。彼らは、現実を見てたんです。ですから、蒋介石がいくら嘘を言うても、そんなことは誰も信用しなかったんです。報道もなかったんです。まあ、いくつか報道はあったんですけども、ニューヨークタイムズの報道はあったんですが、実はこの報道した記者は、現実には全く見ていないんです。蒋介石の言い分をそのまま書いたという、ですからこれは全く国際的にも問題になりませんでした。ところが、そうやって10年間問題にならなかったのが、戦後極東軍裁判で初めて突然亡霊のごとく南京大虐殺が出てきたんです。これはもう何で出てきたかということ、つまり、アメリカ軍は、自分たちの罪を相殺するためだったんです。東京大空襲、広島・長崎の原爆の投下もですね、アメリカ軍が悪いんじゃないと。お前たちが悪いことをしたからこうなったんだということで、アメリカ軍がそのためにもってきたのが南京大虐殺だったんです。これも最初は20万人やったんです。ところが20万じゃこりゃ少ないということで、無理やり30万にしたんです。とんでもない話なんです。えー、アメリカ軍はさらに言いました。お前たちが悪いことしたんだ。真珠湾攻撃でお前たちが宣戦布告なしに戦争した。だから、その報復でむちゃくちゃやってやったんだと。でもね、実は

○ 百田@有楽町

(阪神大震災の話に続けて) これが日本人なんですよ。南京大虐殺、それから、さらに、えー、せんじん(戦時?)慰安婦、これね、徹底した嘘です。この嘘を信じないでください。せんじん慰安婦の問題はね、戦争が終わってから、もう何十年もの間、各国政府は一言も口にしなかったんです。あの竹島を武力で奪って、日本漁民を何十人も虐殺した李承晩でさえね、せんじん慰安婦のことを一言も日本に要求してませんし、何の糾弾もしてません。さらにそのあとを継いだ朴大統領、今の大統領のお父さんですね、彼も一言も言うてません。ですから、せんじん慰安婦の問題は、何十年も日本と韓国の間になかった。これが問題になったのは、1970年代に、吉田せいじ?という大嘘つきが、私の戦争犯罪というとんでもないことをです、まあ彼は後にこの嘘を全部認めています。で、その本を1970年代に朝日新聞が大々的に掲げた。それ以降なんです。実はこの問題は。ですから、この問題はすべて朝日新聞に、私こんなこと言ったらまた朝日新聞にぼろくそに書かれます。私実は、去年からNHKの経営委員になっています。

以上